

映画ポスターにみる ロシア・アヴァンギャルド

NFAJ 所蔵《袋一平コレクション》より

Russian Avant-garde in Film Posters

From NFAJ's Ippei Fukuro Collection

『世界の六分の一』1926年
監督：ジガ・ヴェルトフ
ポスター：アレクサンドル・ロトチェンコ

2020年1月7日(火) — 2月28日(金)

主催 国立映画アーカイブ、国立国際美術館

文部科学省 令和元年度美術館・歴史博物館重点分野推進事業

会場 国立国際美術館 地下1階パブリックスペース

開館時間 10:00 — 17:00、金曜・土曜は20:00まで ※入場は閉館の30分前まで

休館日 月曜日(ただし、1月13日(月・祝)、2月24日(月・休)は開館し、翌日休館)

観覧無料

本展URL <https://www.nfaj.go.jp/exhibition/osaka2019/>



国立映画アーカイブによる大阪初の出張展示

——ロシア・アヴァンギャルドの映画ポスターの名品をここに

国立国際美術館では、国立映画アーカイブ(NFAJ)との共催で、「映画ポスターにみるロシア・アヴァンギャルド NFAJ 所蔵《袋一平コレクション》より」を開催いたします。

NFAJは、映画のフィルムを文化財として収集・保存し、積極的な上映活動を続けてきた日本で唯一の国立映画機関です。そしてNFAJのもう一つのコレクションの柱が、ポスター・スチル写真・シナリオ・プレス資料・機材・書籍といった映画資料です。NFAJではこうした資料についても、活用の幅を広げ、アクセシビリティを高めるためのデジタル化を進めています。ポスターに関しては現在約59,000点という所蔵数を誇りますが、デジタル化を通じて高精度の複製品を作れるようになり、新たな活用の展開が期待されます。

今回は、NFAJがデジタル化した収蔵資料の活用の試みとして、ソヴィエト連邦初期の無声映画時代に作られた映画ポスターを取り上げます。ステンベルク兄弟、ロトチェンコといったロシア構成主義の芸術家を含むデザイナーが手がけたポスター10点を選んで高い精度の複製を制作し、国立国際美術館に展示することになりました。これらはいずれも、ロシア文化の研究家・翻訳家で、一時はソヴィエト映画の輸入配給に携わっていた袋一平(ふくろ・いっぺい)が1930年にソヴィエトへ講演旅行に赴いた際、現地の関係者より贈られたものです。この小展示を通して、宣伝性にとどまらぬ映画ポスターの美や歴史の一端を感じ取っていただき、映画文化の豊かさを新たに発見していただければ幸いです。

《袋一平》コレクションについて

ロシア文化の研究者で、児童向け小説や山岳書の翻訳家としても知られる袋一平(1897-1971)は、1928年から約7年間、ソヴィエト映画の日本への輸入や配給に携わった。1930年、袋は全ソヴィエト対外文化連絡協会(VOKS)の招きで、講演会を交えた日本映画の巡回上映のためモスクワやレニングラードなどを訪れた。その旅の土産として贈られたポスターやスチル写真がこのコレクションの基礎であり、その後に入手した品も含めると、ポスターは115タイトル・140種にのぼる。当時はソヴィエト映画の公開に対する検閲が厳しかったため、袋は持ち帰ったポスターやスチル写真の展覧会を開催することにも力を入れた。

なおこのコレクションは、1951年に袋から国立国会図書館が購入し、1974年に東京国立近代美術館フィルムセンター(現・国立映画アーカイブ)に移管されたものである。

出品作品

1. 『世界の六分の一』1926年 監督：ジガ・ヴェルトフ
ポスター：アレクサンドル・ロトチェンコ
2. 『帽子箱を持った少女』1927年 監督：ボリス・バルネット ポスター：ステンベルク兄弟
3. 『詩人と皇帝』1927年 監督：ウラジーミル・ガルジン
ポスター：ヤーコフ・ルクレフスキー、ステンベルク兄弟
4. 『十月』1927年 監督：セルゲイ・エイゼンシュテイン、グリゴリー・アレクサンドロフ
ポスター：ステンベルク兄弟
5. 『ズヴェニーゴラ』1928年 監督：アレクサンドル・ドヴジェンコ
ポスター：ステンベルク兄弟
6. 『カメラを持った男』1929年 監督：ジガ・ヴェルトフ ポスター：ステンベルク兄弟
7. 『生ける屍』1929年 監督：フョードル・オツェプ
ポスター：グリゴリー・ポリソフ、ピョートル・ジューコフ
8. 『その前日』1929年 監督：グリゴリー・グリチェル=チェリコヴェル
ポスター：ヨシフ・ゲラシモヴィチ
9. 『世界大戦』1929年 監督：E・E・ヤクシキン ポスター：ミハイル・ドゥルガチ
10. 『大地』1930年 監督：アレクサンドル・ドヴジェンコ ポスター：ステンベルク兄弟

関連イベント

解説トーク

2月8日(土) ①11:00— ②15:30— (各回30分程度) ※①と②の内容は同じです
参加無料(混み合った場合はご参加いただけないことがあります)

講師：岡田秀則(国立映画アーカイブ主任研究員)

会場：国立国際美術館 地下1階パブリックスペース

※解説トーク中は展示をご覧いただけない場合があります